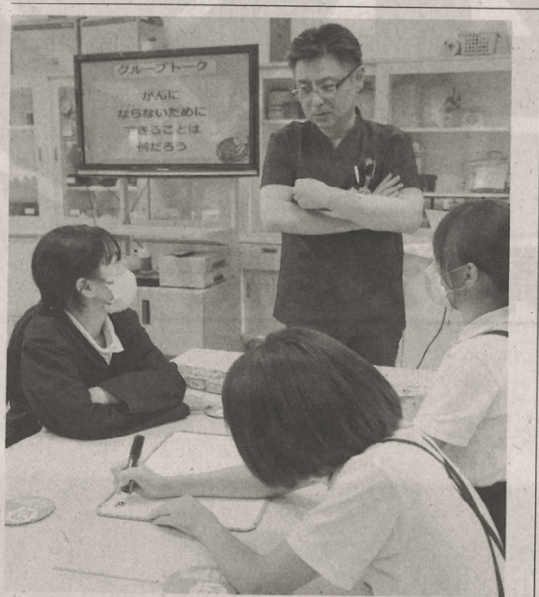


## 「がん教育」が 読売新聞でも取り上げられました！



児童に「がん教育」  
橋本の医師

子どもたちのがんに関する正しい知識を身につけてもらおうと、橋本市の高野口小学校で、同市岸上の医療法人南労会「紀和病院」の梅村定司医師(56)による「がん教育」が行われた。同院は2015年度から市内の小学校でがん教育を始めた。新型コロナウイルス感染拡大の影響で20、21

年度は開催を見送ったが、22年度から再開した。17日は、同校の小学6年生約30人が参加。梅村医師は、日本人の2人に1人が罹患するといわれることや、定期健診や生活習慣の改善の重要性を説明。その後グループに分かれ、「たばこを吸い過ぎない」「ストレスをため込まない」な

どと、子どもたちががんの予防策について話し合った  
写真。参加した宮部紗帆さん(11)は「がんは怖い病気なんだと勉強になった」と話した。梅村医師は「がんは身近な病気。もし周りになった人がいたら、寄り添って助けてあげてほしい」と呼びかけた。

